

ローマ 15

“昔書かれたものは、すべて私たちに教えるために書かれたのです。それは、聖書の与える忍耐と励ましによって、希望を持たせるためなのです。どうか、忍耐と励ましの神が、あなたがたを、キリスト・イエスにふさわしく、互いに同じ思いを持つようになさいますように。”

ローマ人への手紙 15章4~5節

“それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、
ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。”

エペソ人への手紙 4章12~13節

“私は主にあって、あなたがたが少しも違った考えを持っていないと確信しています。しかし、あなたがたをかき乱す者は、だれであろうと、さばきを受けるのです。”

ガラテヤ人への手紙 5章10節

“ですから、成人である者はみな、このような考え方をしましょう。もし、あなたがたがどこかでこれと違った考え方をしているなら、神はそのこともあなたがたに明らかにしてくださいます。”

ピリピ人への手紙 3章15節

“わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。”

詩篇 103篇2節

“こういうわけですから、キリストが神の栄光のために、私たちを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れなさい。”

ローマ人への手紙 15章7節

“また異邦人も、あわれみのゆえに、神をあがめるようになるためです。こう書かれているとおりです。「それゆえ、私は異邦人の中で、あなたをほめたたえ、あなたの御名をほめ歌おう。」

また、こうも言われています。「異邦人よ。主の民とともに喜べ。」

さらにまた、「すべての異邦人よ。主をほめよ。もろもろの国民よ。主をたたえよ。」

さらにまた、イザヤがこう言っています。「エッサイの根が起る。異邦人を治めるために立ち上がる方である。異邦人はこの方に望みをかける。」”

ローマ人への手紙 15章9~12節

“さらにまた、イザヤがこう言っています。「エッサイの根が起こる。異邦人を治めるために立ち上がる方である。異邦人はこの方に望みをかける。」
どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。”

ローマ人への手紙 15章 12～13 節

“ただ私が所々、かなり大胆に書いたのは、あなたがたにもう一度思い起こしてもらおうためでした。”

ローマ人への手紙 15章 15 節

“――というのは、途中あなたがたに会い、まず、しばらくの間あなたがたともにおいて心を満たされてから、あなたがたに送られ、そこへ行きたいと望んでいるからです、――”

ローマ人への手紙 15章 24 節

“それは、マケドニヤとアカヤでは、喜んでエルサレムの聖徒たちの中の貧しい人たちのために醸金することにしたからです。”

ローマ人への手紙 15章 26 節

“あなたがたのところに行くときは、キリストの満ちあふれる祝福をもって行くことと信じています。

兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また、御霊の愛によって切にお願いします。私のために、私とともに力を尽くして神に祈ってください。”

ローマ人への手紙 15章 29～30 節

“その結果として、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところへ行き、あなたがたの中で、ともにいこいを得ることができますように。

どうか、平和の神が、あなたがたすべてとともにいてくださいますように。

アーメン。”

ローマ人への手紙 15章 32～33 節